

回覧

地域再生 協議会だより

百合が丘 2 - 29 - 6 (老人憩いの家) 59 - 9356 (火・金午前) isshiki-saisei@grace.ocn.ne.jp

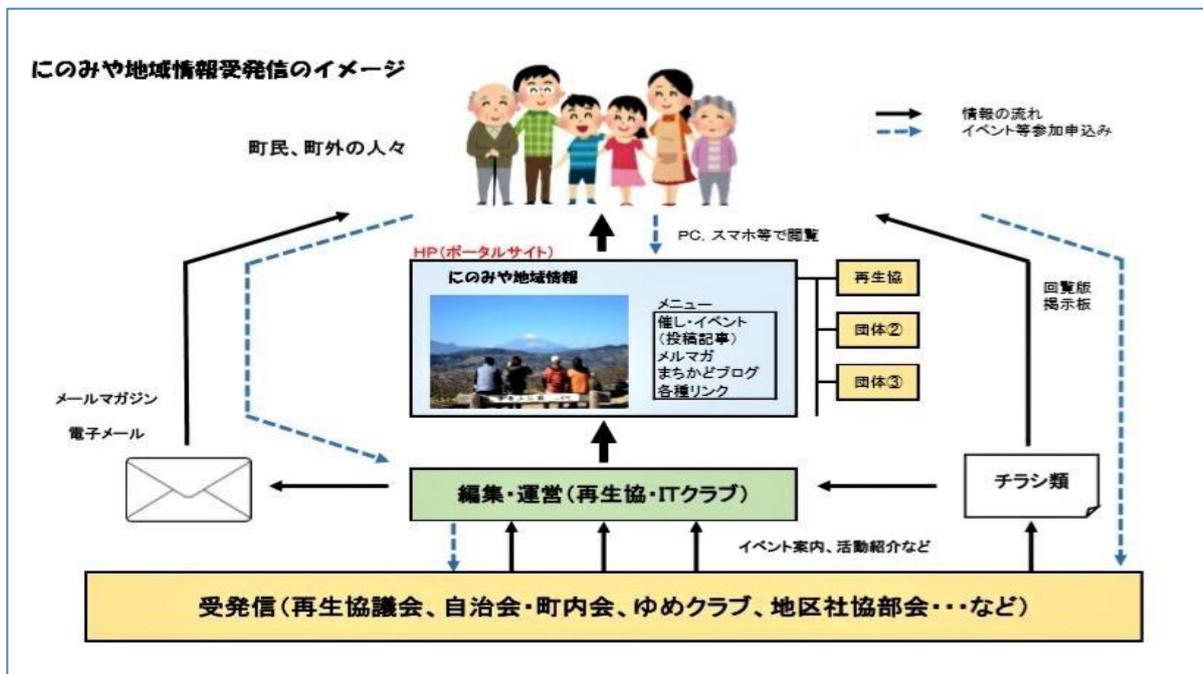
始動

にのみや地域情報サイト

年度内無料、団体利用を呼びかけ

コミュニティ団体の活動を支援する「にのみや地域情報サイト」が始動した。地域再生協議会と湘南二宮 IT クラブ (片岡健二理事長) が連携して準備してきたネット活用の新情報体系で、従来のペーパー中心の情報共有を補強する。まず、再生協議会が活用の先陣を切り、今後自治会、社協、ゆめクラブなどに利用を呼び掛ける。

催事・イベントを中心にしたコミュニティ活動全般をカバーする“地域電子掲示板”をめざす。



(裏面へ)

<ここからアクセス！>

①Google、Yahoo からキーワード入力	②スマホ、タブレットから	③パソコンから
	 このみや地域情報 → このみや地域再生協議会	このみや地域情報 https://nino-community-info.com 地域再生協議会 https://saisei.nino-community-info.com

事業・サービス内容

イベント、催しに力点

このみや地域情報は、各団体のイベントや活動を紹介し、発信するサイトと、それらの情報を集約したポータル(玄関)サイトで構成。催し・イベント、メールマガジン、まちかどブログなどのメニューを揃える。イベントや事業活動の紹介では、新たな手間を省くために、各団体が通常作成しているポスター、チラシ類などの情報をそのまま活用し、インターネット経由で配信することを基本にする。メールマガジンは各団体の情報を整理・編集し、登録者に定期的に配信する。地域在住のライターによる街の話題の掲載(まちかどブログ)も売り物の一つにする。

一番手として発信を始める再生協議会では、地域交流、古民家・散策路、音楽活動など6つの部会の動きやイベント、講演会情報などを随時発表し、これまで回覧や広報版掲示、協議会だけに偏っていた広報活動をてこ入れする。

特徴・利点

専門人材はいらず

このみや地域情報を使った広報・受発信には、以下のような明確な利点が想定される。

- ・HP 中心のネット活用には編集、管理、フォローの専門人材、もしくは外部委託が必要になるが、これらを地域情報が担うので規模の小さな団体も活用しやすい。
- ・すでに手掛けているチラシ、ポスター類を転用できるので、新たな手間・コストがかからない。
- ・回覧など紙媒体による広報は認知度が低いうえに、忘れられやすいのが難点。スマホやタブレットの普及に合わせた広報活動が可能になる。
- ・イベント、催しでは地域外にもアピールする必要がある、低コストで広範な発信ができる。

利用料など今後

年度内は試用期間(無料)

このみや地域情報サイトを展開するうえでの課題は、利用団体と視聴者の拡大で、いずれも一色小学校区内を拠点に広げていく。すでに有力自治会、社協、ゆめクラブ、一色小学校などを対象にした説明会を開いており、さらに利用呼びかけの範囲を広げる。

利用の拡大に当たっては、利用料設定の必要があるが、来年3月までは試用期間とし、新しい発信手段の可能性を探ってもらうことにする。利用料は期間中にコストチェックを行い、小規模団体でも利用しやすい体系にする。

また、同サイトに関する情報掲載基準を設けるほか、二宮町、観光協会、県住宅供給公社HPへのリンク、まちかどブログライター(投稿者)の増員などにも取り組む。さらに、公益性の高いイベント・催し情報の収集、掲載の是非などについても考え方を整理し、様々な地域情報を網羅する魅力あるサイトに発展させたいとしている。